



令和4年11月1日発行
第68号

ながわまち 議会だより

■発行／長野県小県郡長和町議会■

■編集／広報常任委員会■



★3年ぶりに「下諏訪レガッタ」に参加しました。★

(下諏訪町ローイングパーク)

写真は、左から舵手、漕手4人、応援団長、監督です。

(31ページに写真の説明を掲載しています。)

●長和町議会 令和4年9月定例会

◆ 町長提案理由の説明	2
◆ 審議結果	3
◆ 令和3年度決算認定	4
◆ 常任委員会審査報告	14
◆ 一般質問	18
◆ 一部事務組合議会報告	27
◆ 議会研修会／委員会視察	28
◆ 長和町「あの人を訪ねて」	32

9月議会

長和町議会 令和4年9月第3回定例会が、長和町役場議場に於いて、8月29日(月)から9月16日(金)までの19日間の会期で開かれ、報告16件、令和3年度決算認定10件、条例案1件、令和4年度補正予算案8件、人事案1件、陳情2件、意見書案3件、発議1件について審議を行いました。また、議長と監査委員を除く8人の議員が一般質問を行いました。

町長提案理由の説明

温暖化を見据え、豪雨災害に対応した
準備並びに対策を行っていきます

「長和町気候非常事態宣言」を發出します

今年の夏は、各地で線状降水帯の発生による記録的短時間大雨情報が発するなど、異常気象による影響が多くありましたが、幸いにも長和町は、ここまで昨年8月のような大雨による被害を受けることなく過すことができました。



羽田健一郎 町長

今議会では、後ほど「長和町気候非常事態宣言」を行います。趣旨のご理解とご協力を切にお願い致します。(P.17に宣言を掲載)

コロナの感染状況を注視し、適切な対応を取る

新型コロナウイルス感染症については、7月中旬ごろから「第7波」と呼ばれる全国的な感染者増となり、県は、7月28日全県に医療特別警報の発出と感染警戒レベル5への引き上げ、8月8日には県内の病床使用率が50%を超えたことを受け、医療非常事態宣言と感染警戒レベル6への引き上げを行いました。さらに24日には、「BA・5対策強化宣言」が発出されたことは、皆様ご存じ

のとおりです。また、政府も同日、感染者の全数把握の方法を見直す方針を表明しました。

このような状況の中、長和町においても新規感染者数が10人前後の日が続ぎ、ときには20人を超える日もあるなど、これまでより多くの感染者が確認されています。

町としても、全国の感染

状況や国、県の対応を注視しながら、適時必要な対策を進めて参ります。ワクチン接種についても順調に進んでおり、9月中には集団接種が終わりませんが、引き続き今回対象とならなかった町民皆様の接種を進めていきたいと考えています。

物価高騰対策にも積極的に対応していきます

ロシア軍による突然のウクライナ侵攻から、早くも半年が過ぎましたが、終戦が見通せない状況となりつ

つあります。この侵攻は原油の高騰や物価の上昇など世界経済にも大きな影響を落としていきます。物価高騰対策につきましても、国や県の対応を注視しつつ、町としてできることについて積極的に対応してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年度の町の財政は健全な状況にあります

今議会は、令和3年度決算について認定を頂く議会でありませす。

令和3年度の町税収入額は約7億1656万円と前年度比4・8%の減で、収納率は全体で96・5%と1・1%減となりました。令和3年度決算における町の財政指標については、実質公債費比率、将来負担比率ともに前年度と比較して下がっており、財政は健全な状況にあることをご報告致します。(抜粋)

令和4年9月 第3回定例会 審議結果

令和4年9月長和町議会第3回定例会において審議された議案は、意見書1件が賛成多数で、他は全員賛成で、承認・可決・同意されました。以下に、審議された議案とその主な内容を、抜粋して掲載します。

◇ 報告（16件）

・(株)長門牧場第56期決算について／(株)長門牧場第57期事業計画について

★ 令和3年度は新型コロナウイルス感染症と8月の大雨の影響を受け、地代収入を除く売上金額は4億3,524万円で、目標金額を1,100万円ほど下回り、当期純利益は3,727万円の損失であった。一方、通信販売での売上は伸びており、全体で売上減の傾向は少し回復してきている。

◇ 発議（1件）

・長和町決算特別委員会の設置について ★ 一般会計の決算審査は、決算特別委員会で審査しました。
 ➔ 10～12ページに、委員会審査の質疑を抜粋して掲載しました。

◇ 決算認定（10件）

➔ 4～13ページに、令和3年度決算認定に関する特集を掲載しました。

◇ 条例（1件）

・長和町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
 ★ 公務員法の10月1日改正施行に伴い、町でも非常勤職員の育児休業等に関する規定を設ける。

◇ 補正予算案（8件）

・令和4年度長和町一般会計補正予算（第6号）について
 ➔ 14～15ページに、常任委員会での審査内容を抜粋して掲載しました。

・令和4年度長和町一般会計補正予算（第7号）について
 ★ 既定の歳入歳出に2,438万9千円を追加し、予算総額を65億6,408万円とする。年度末までに12歳以上5100人を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種事業に2,267万3千円、元気づくり支援金171万6千円を活用した特産品開発事業に225万7千円を支出する。

◇ 人事案（1件）

・人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
 ★ 人権擁護委員法の規定により、田部弘子さん（姫木）を人権擁護委員に適任とすることに同意。

◇ 陳情（2件） ★ 採択後に意見書としました。

◇ 意見書（3件）

・「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書
 ★ 小学校は35人学級とすることとなったが、中学校は40人のままである。子どもたちの豊かな学びを実現するため、さらなる少人数学級の推進と義務教育費の国庫負担率1/2への復元を求める。

・「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書
 ★ 教員のへき地手当等の支給率を、近隣県との均衡を勘案し2005年以前の水準に戻すことを求める。

・安倍元首相の国葬の中止を求める意見書 ➔ 16ページに意見書と討論を掲載しました。

★ 議案に対する議員の賛否結果 《賛成◎、反対☹、表決に加わらないー》（賛否の分かれたもののみ掲載）

議案	表決結果	阿部由紀子	龍野一幸	荻野友一	佐藤恵一	田福光規	羽田公夫	原田恵召	小川純夫	渡辺久人	森田公明
安倍元首相の国葬の中止を求める意見書	可決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	☹	◎	ー

一般会計歳出決算額 66億3868万円

令和3年度一般会計・特別会計決算を認定しました。

町のお金はこんな事業に使われました

特別会計歳出決算額 20億1395万円

令和3年度
決算

令和3年度 長和町会計別決算額

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	69億5529万8344円	66億3867万7079円	3億1662万1265円
国民健康保険 特別会計	8億0347万7877円	7億8977万4999円	1370万2878円
国民健康保険歯科診療所事業 特別会計	971万3533円	971万3533円	0円
後期高齢者医療 特別会計	8747万9799円	8701万2837円	46万6962円
介護保険 特別会計	10億7038万3254円	10億3742万5635円	3295万7619円
同和地区住宅新築資金等貸付 特別会計	620万4274円	1万1000円	619万3274円
観光施設事業 特別会計	1億0387万5865円	8886万2937円	1501万2928円
和田財産区 特別会計	2109万8948円	115万2403円	1994万6545円
特別会計合計	21億0223万3550円	20億1395万3344円	8828万0206円
合計	90億5753万1894円	86億5263万0423円	4億0490万1471円

令和3年度 上水道事業会計決算額 (消費税抜)

科目	金額	内容
収益的収支	事業収益 2億6561万7592円	給水収益 1億5027万9618円, 補助金 2471万3000円
	事業費用 2億7238万5485円	減価償却費 1億6822万0036円, 支払利息等 2172万7871円
資本的収支	資本的収入 3847万1000円	補助金 3847万1000円
	資本的支出 7626万7788円	建設改良費 137万0871円, 企業債償還金 7489万6917円

令和3年度 公共下水道事業及び排水処理施設事業会計決算額 (消費税抜)

科目	金額	内容
収益的収支	事業収益 4億8735万0258円	下水道使用料 1億0725万1463円, 補助金 1億2744万1000円
	事業費用 4億3717万3163円	減価償却費 3億3010万6955円, 支払利息等 3172万9048円
資本的収支	資本的収入 1億6399万3000円	補助金 1億3799万3000円, 企業債 2600万円
	資本的支出 2億7635万9963円	建設改良費 121万5000円, 企業債償還金 2億7514万4963円

令和3年度末 基金の動向 (一般会計分)

令和3年度末 起債残高

基金名	2年度末残高	3年度末残高	増減	会計	2年度末残高	3年度末残高	増減
財政調整基金	15億9054万円	17億0006万円	1億952万円	一般会計	65億7733万円	63億5102万円	△2億2631万円
新町一体感醸成基金	7億9800万円	6億8151万円	△1億1649万円	同和住宅資金貸付	0万円	0万円	0万円
その他36基金計	9億5653万円	9億9596万円	3943万円	特環公共下水道	23億9664万円	21億4920万円	△2億4744万円
合計	33億4507万円	33億7753万円	3246万円	簡易排水施設	1353万円	1183万円	△170万円

令和3年度 決算

令和3年度決算認定に先立ち、令和3年度一般会計、特別会計及び公営企業会計決算について、監査委員丸山淳子氏、小川純夫氏による審査が行われました。令和4年8月23日に、「一般会計、特別会計については、歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び諸書類、公営企業会計については決算報告書、財務諸表、決算付属書類及び証書類を審査した結果、経理は収支とも正確であるものと認める」との審査報告書が羽田町長に提出されました。

令和3年度決算審査報告

決算監査について

7月5日(火) 収納状況調査

12日(火) 現場監査

27日(水)

基金運用状況審査

21日(木)～28日(木)

決算書類審査

収納状況調査について

令和3年度末における未納額は約2億2300万円余となっており、令和2年度に比べ1364万3千円増加し、収納率もわずかに減少した。

これまで以上に滞納常連者に粘り強く滞納整理を行うとともに、独自に滞納整理週間を設けて集中的に電話催告を実施するなど、引き続き担当課において収納率向上に向けた取り組みを強化し、未納額減少に努めていきたい。

決算書類審査について

令和3年度長和町一般会計及び特別会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書並びに財産に関する調書・基金運用状況調書は、地方自治法、同法施行令、同法施行規則に定められた規定どおりに

作成されており、歳入歳出決算額、現金保管高、基金現在高等について、全て正確であることを確認した。

また、一般会計においては約2億円強の基金が取り崩されている。経常経費の不足分を基金で補うことは健全な状態ではないので、継続事業の見直しや改善、経費節減の取り組みをお願いしたい。

令和元年度から継続する

災害復旧事業、新

型コロナウイルス

感染症対策及び景

気対策関連事業等

の実施など、町の

財政規模が膨らむ

とともに職員の業

務量も増加し大変

厳しい状況である

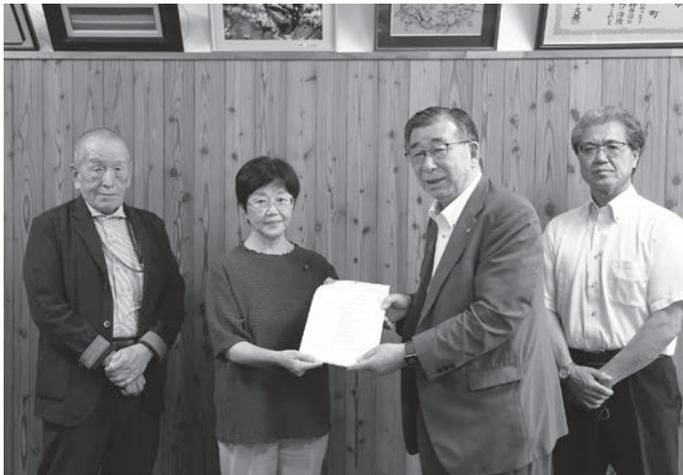
が、引き続き適正

な事業の実施及び

行財政運営に取り

組んでいただきたい。

(抜粋)



小川純夫 監査委員
丸山淳子 代表監査委員
羽田健一郎 町長
高見沢高明 副町長

★ 語句解説 ★

問 決算審査の収納状況調査とは何ですか。

答 町の大切な財源である税金などが適切に納められているかを監査委員が調査します。町民税・固定資産税・たばこ税などの町税、公営住宅や有線テレビなどの使用料、介護保険などの保険料が対象になります。



現場監査 (ながと保育園園庭改修工事)

令和3年度事業一

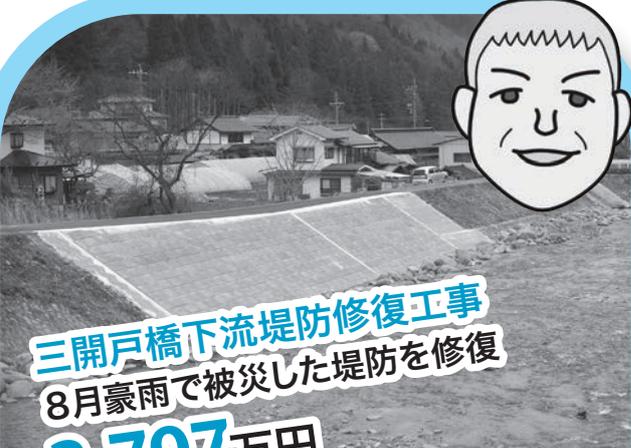
こんな施策に使われました。



学校給食費無償化事業
小中学校の給食費を町が負担

1,907万5千円

長和町では、平成30年度より小中学校の給食費を無償化しています。令和3年度は小学校208名分1178万7千円、南部中学校127名分703万6千円、町外への通学生4名分25万2千円が支出されました。



三開戸橋下流堤防修復工事
8月豪雨で被災した堤防を修復

3,797万円

令和元年の台風の傷跡も癒えないところへ追い打ちをかけるように、令和3年盆の大雨による出水で町内の河川は大打撃を受けました。ようやく三開戸橋の修復工事も終わり、心休まる平安な日常を取り戻しました。



高齢者地域支援事業
介護予防・生活支援サービス費

1,829万円

訪問介護226名、通所介護192名、おたっしや倶楽部327名、短期集中運動プログラム190名などの生活支援と、高齢者訪問224件、元気アップ教室584名、リハビリ専門職派遣事業などの介護予防事業。



地域おこし協力隊事業
人件費・活動費・募集事業費

2,052万6千円

地域おこし協力隊4名が「移住希望者に優しい町・信州長和町」の魅力発信、移住相談や空き家バンクの運営、観光推進などに取り組んでいます。協力隊事業費はすべて国からの特別交付税によって賄われています。

— 議員が注目した

令和3年度 私たちのお金は



小学校「GIGAスクール」対応
ICT教育を推進

491万2千円



町の小学校ではICT教育を推進しています。令和3年度は授業や家庭学習での使用を進めるため、教職員の研修とICTサポートの配置、学習ソフトの導入を実施しました。リモート授業も始まっています。



消防防災関係費
広域消防、消防団の活動支援

1億6,789万4千円

頻発化、激甚化する近年の自然災害に対応し、火災だけでなく水防活動への出勤など、消防団の重要性はますます高まっています。常備消防負担金、消防団員への報酬や共済金、施設整備などに支出しています。



町内巡回バス「ながわごん」
JRバス関東に運行委託

5,838万8千円



ポンチョバス2台とワゴン車6台をJRバスに委託して運行しています。今後は路線ごとの利用者数を把握すると共に、利用者からの要望や意見をできるだけ取り入れたさらに利便性の良いダイヤとしていきます。



たかやまスキー場管理事業
たかやまスキー場の整備管理費

1億3,266万8千円



(株)マウント長和への出資金800万円、人工降雪機導入工事等に8443万円。経営は(株)マウント長和の民間活力と施設整備を町が担う「公設民営」の長所を活かし、補助金の獲得や有利な起債等を活用していく。

こんな施策に使われました。

人件費・報酬関連 (抜粋)

職員人件費(手当込)
683,637,612円
 正規職員92人分

会計年度任用職員人件費(手当込)
180,844,734円
 会計年度任用職員100人分

(株)共立メンテナンス委託料
211,116,000円
 派遣職員85人分

特別職人件費(手当込)
43,260,043円
 町長、副町長、教育長3人分

議会議員報酬・手当
29,383,050円

シルバー人材センター支払い
31,684,198円
 様々な業務に対する支払い

その他に、ケーブルテレビ、上下水道などに係わる職員の人件費、派遣職員の委託料などがある。なお、会計年度任用職員や派遣職員は、パートタイムや有期雇用等であるため、人数は1年の累計であり、常時この人数が働いているわけではない。また、シルバー人材センターには、役場庁舎、体育施設、文化財施設等の維持管理、選挙、草刈り、公衆トイレ清掃、ワクチン関係、リサイクル処理など様々な業務を依頼している。

災害復旧関連費用 (抜粋)

土木施設災害復旧費
123,029,252円
 補助金 49,159千円
 令和4年度への繰越額
116,774千円

農業用施設災害復旧費
409,222,160円
 補助金 335,968千円
 令和4年度への繰越額
511,770千円

林業施設災害復旧費
26,468,860円
 補助金 16,028千円
 令和4年度への繰越額
23,298千円

令和3年度に町が行った災害復旧事業で、設計・管理等の費用を含む。この他に、県が行った事業がある。令和3年度に実施済みの事業は、土木施設27カ所、農業用施設125カ所、林業施設17カ所におよぶが、土木施設3カ所、農業用施設41カ所、林業施設1カ所は令和4年度へ繰越となった。

学校保険特別対策事業費補助金
1,620,310円
 国庫補助 800千円
 臨時交付金 800千円

長和町内2小学校における新型コロナウイルス等の集団感染のリスクを避けるため、各学校の保健衛生用品の購入を行い、児童が安心して学ぶことができる体制を整備。マスク、消毒液、配膳台、滅菌器、非接触体重身長計などを購入。

子育て世帯臨時特別給付金事業
67,541,847円
 全額国庫補助

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため。対象者は、児童手当受給者、高校生等を養育している父母等、新生児の児童手当受給者。支給額は1人当たり10万円で、668名に支給した。

児童福祉施設等対策事業
599,588円
 全額一般財源

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた児童福祉施設等の感染症対策消耗品購入を支援する。ながと保育園感染症対策事業 374,880円、和田保育園感染症対策事業 139,543円、子育て支援センター感染症対策事業 84,965円。

令和3年度 私たちのお金は

新型コロナ対策関連事業 (抜粋)

高齢者生活見守り支援事業

160,270円

臨時交付金 157千円

新型コロナウイルス感染症の影響による、高齢者の閉じこもりや生活不活発による健康悪化対策として、独居高齢者及び高齢者世帯を訪問し、安否確認、生活課題の把握、感染予防、介護予防啓発を行った。社会福祉協議会への委託により実施。訪問件数 561 件。

福祉企業センター感染拡大防止事業

515,680円

臨時交付金 503千円

障がい者や高齢者などが利用する長和町福祉企業センターにおける利用者の感染予防のための施設修繕(手洗い器自動水洗取付工事、トイレドアのオートクローズ化工事)と、自動手指消毒器を購入。

和田診療所電子カルテ導入事業

14,850,000円

臨時交付金 14,486千円

和田診療所に電子カルテを導入し、依田窪病院と検査データや診療内容を共有できるようにする。システム導入により、受診患者の診察や待ち時間の短縮になり、診療所内の感染拡大の防止につながる。依田窪医療福祉事務組合への負担金により実施。

信州・小県道の駅消費喚起事業

1,313,250円

臨時交付金 1,281千円

長和町と青木村の小県郡2町村が連携して、小県郡内の道の駅において、共通のプレミアム付き地域消費券を発行して、地域内の消費喚起を促し、経済活性化を目指した。

青木村への負担金により実施。

長和の里地域いきいき券配布事業

67,575,823円

臨時交付金 65,918千円

飲食業・宿泊業に係わる事業者等の経済対策と地域住民の家計支援のため、町民1人あたり1万円分、子育て世帯の家計支援のため18歳までの子ども1人あたり1万円分を上乗せし、地域いきいき券配布する。長和町商工会への負担金により実施。

感染症経済対策相談窓口強化事業

1,800,000円

一般財源 1,800千円

先行きの見えない経済状況を鑑み、長和町商工会に専門の相談窓口を設け、事業者の相談に対しワンストップで対応し、きめ細やかな支援を行う。商工会窓口人材確保経費1名分を長和町商工会への負担金として支出。

特別警報II緊急支援金給付事業

19,093,769円

臨時交付金 7,493千円

県補助金 11,600千円

長野県による新型コロナウイルス特別警報IIの発出及び酒類の提供を行う飲食店等の営業時間短縮・休業について協力を要請されたことにより、影響を受けた事業者等に対し緊急支援として給付金15万円を一律支給。長和町商工会への負担金として支出。

クリーン&グリーン誘客宣伝事業

22,000,000円

臨時交付金 21,460千円

宿泊事業者等の支援事業として、観光客の安心を確保しながら事業を継続するため、衛生用品を配布する。また、感染拡大の状況に配慮しつつ、事業周知のためのPR活動等を行い、長和町への誘客を図る。信州・長和町観光協会への補助金により実施。

リフト券宿泊パック等支援事業

26,000,000円

臨時交付金 25,554千円

冬季の誘客を支援するため、宿泊事業者が宿泊パックを造成するためのスキーリフト券の購入、スキー場が実施するスキーリフト・クーポン券セットに対する補助、新和田トンネル無料化前の支援、事業PR等を、信州・長和町観光協会への補助金により実施。

第6波対応緊急支援金給付事業

19,170,641円

県補助金 19,170千円

新型コロナウイルス感染症拡大の第6波到来に伴い、酒類の提供を行う飲食店等の営業時間短縮・休業について協力を要請されたことにより、経済活動が停滞し影響を受けた事業者等に対し、緊急支援として1事業者あたり15万円の給付金を支給した。

決算特別委員会 令和3年度一般会計決算審査報告

令和3年度長和町一般会計決算を審査する決算特別委員会が、9月6日(火)と7日(水)に開催されました。担当課から主要事業等の説明の後、質疑が行われ、採決の結果、全員賛成で令和3年度一般会計決算は承認すべきものと決定されました。以下に審査の内容を抜粋して掲載します。

決算特別委員会は、8月29日(月)の議会開会日に議員発議により提案され、設置されました。議長と議会選出監査委員を除く8名の議員で構成され、渡辺副議長を委員長として、担当課ごとに順次審査を行いました。



渡辺予算特別委員長

総務課

和田支所管理費

和田庁舎全体を管理する

914万2千円

問 和田支所3階の大会議室の利用状況はどうか。

答 広報して利用を伸ばして

738万9千円

問 ポスター掲示場の数や位置は適切か。また、車椅子が準備されていない投票所があるか。

答 投票所の選挙人の数で基準があるが、県に問い

町長・町議会議員選挙
選挙公営が町村にも拡大

答 月1件程度である。町の広報に3〜4ヶ月に1回、大会議室の利用について載せているが、他の方法も検討していく。

欲しい。

令和3年度 決算

合わせ、検討していきたい。車椅子は確認し、配備を検討する。

問 選挙公報が届かないお宅があったというが。

答 信濃毎日新聞の折り込み、新聞店による投函、各支所と別荘管理事務所

7000万6千円

情報広報課

ケーブルテレビ施設

運営費、人件費、修繕費、負担金、委託料等

問 ケーブルテレビ使用料の滞納者数と金額は。また、その対策は。

答 令和3年度の未納者数は78人で、未納総額は約

答 小さい区については合同での設立も可能。令和4年度は防災支援金事業を実施しているので、活用して頂き意識の向上につなげたい。

1147万円

防災対策費

自主防災組織49区で設置

に配置している。すべてのお宅に届くよう方法を検討していきたい。

問 自主防災組織の設立が頭打ちとなっているようだが、区ごとの個別計画を作成して設立を促進する必要はあるのでは。

答 移住者には自治会に入らない人がいる。移住政策に疑問を感じる。

105万6千円

企画財政課

空き家活用移住促進事業

空き家バンク登録42物件、改修費補助2件

106万円。未納の方には納付書と督促状を送っている。

問 移住してきても自治会に入らない人がいる。移住政策に疑問を感じる。

答 移住者に、積極的に自治会や区に加入するよう呼び掛けていきたい。

2033万1千円

地域おこし協力隊事業

協力隊4名の人件費と活動費

問 地域おこし協力隊の卒業後や、移住者を対象とした産業振興策が大切と思うが。

答 どのような方向性で何を起業したいかなども重要になる。方産業振興課とも協議していきたい。

971万8千円

和田診療所運営経費
依田窪病院へ負担金を支出

問 広域行政負担金の中の和田診療所の運営に要する経費の積算根拠は。

答 地方公営企業繰出基準に基づき、診療所の運営に要する経費のうち、診療所の収入では充てることができない費用分を負担している。

9420万7千円

新型コロナウイルスワクチン接種事業
1回目89.4%、2回目89.2%、3回目79.6%

問 ワクチン接種事業で、670万円の不用額がでていますが、ワクチン接種に従事した医師や看護師の単価はどのように設定しているのか。

答 接種事業の人数等の見込みを立てて補助金を頂いている。補助金の収入歳出を合わせるため、不用額が多くなる。医師・看護師など接種等に係る

単価については、国から2277円を統一単価として示されている。

町民福祉課

個人番号カード発行業務 令和3年度未カード発行数2228件

問 マイナンバー、マイナポイントについて、をどのように告知して交付促進しているか。

474万3千円

EV充電器維持管理
町内に4カ所5基設置済

答 ポイントについての問い合わせが多く、電話で説明をしている。自分で申請できない方には窓口へ来て頂き申請のサポートを行っている。

問 EV充電器の保守管理などの年間経費は。
答 電気使用量が212万



令和3年度 長和町成人式

1015万6千円

教育課
高校通学費等補助金
令和3年度134件

6千円程、保守料金が235万3千円、通信機器の利用料が26万4千円かかる。歳入は140万円弱が利用料として町に入っている。

問 通学費の状況の調査と通学費補助の増額を検討できないか。
答 上田方面への通学について、上田市が行っている運賃低減バスのような制度を実施できないか、総務課で検討している。

31万3千円

成人式関連費用
令和2年度出席者24名
令和3年度出席者37名

問 成年年齢が18歳になったが、長和町の成人式の名称と対象年齢はどうする考えか。
答 名称は社会教育委員会で協議予定であるが、対

1697万6千円

放課後児童健全育成事業 児童クラブ運営費

象者は今までどおり20歳としたい。

問 放課後児童クラブの職員は足りているか。また、増員の予定はあるか。
答 長門児童クラブは、平均5〜6名で対応している。特別な支援が必要な児童も増えており、増員は予算との関係も含め検討する。

問 児童クラブの問題は数年前から指摘されているが、未だ解決に至っていない。何も対策をとっていないのか。
答 施設規模としては条件を満たしているが、狭く感じられる。課題解決にむけ、小学校の空き教室の利用を学校側と相談している。古町コミュニティの活用についても、来年度に向け取り組んでいきたい。

令和3年度 長和町一般会計決算の認定について 佐藤恵一 議員

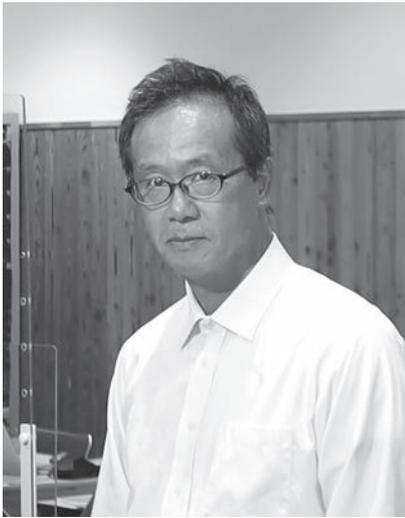
賛成討論

議案第51号令和3年度長和町一般会計決算の認定について、賛成の立場で討論を行います。

「長和町気候非常事態宣言」発表

今定例会の開会日、長和町気候非常事態宣言「美しき輝きを後世へ2050ゼロカーボンながわ」が宣言されました。

誰もが実感しつつある気候が既に異常な状況にあるとの危機感を住民と共有し、持続可能な心地よい生活を将来の世代に引き継いでいくために、当町の地球温暖化対策への取組を施策として具現化し



佐藤恵一 議員

ていく指針が、町長より、住民事業者、行政へ向けて発信されたことは、大変有意義であり大きな一歩であると考えます。

財政運営が健全、適正である

決算認定に関する賛成の論点を申し上げます。

まず、財政指標から見た行財政運営の健全性であります。財政の弾力性を指標である「実質公債費比率」が前年比0.2ポイント改善されたこと、一般会計等で将来負担すべき実質的な負債の比率である「将来負担比率」が前年比17.5ポイント改善されたこと等、他の各指標を含め今後継続的に注視すべき点はあるものの、令和3年度決算における財政の健全性が認められます。

それ故、令和3年度の財政運営は健全かつ適切であったと判断でき、引き続きこれらの指標に留意し、今後も健全で適正な財政の運営・執行を求めらるるものであります。

感染症対策事業を適切に実施

次に、社会的経済的に大きな影響を及ぼしている「新型コロナウイルス感染症」に対する施策が、令和3年度を通じ、適切に施行されたことが上げられます。

新型コロナウイルス感染症の影響で様々な困難に直面した方への「住民税非課税世帯に対する臨時特別交付金」や、感染症の影響が大きい「子育て世帯の生活を支援するための特別給付金」の支給、及び多大な影響を受けている事業者に対する「地方創生交付金を活用した新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業」を実施するなど、緊急を要する感染症対応関連事業が適切に実施されました。

速やかな災害復旧事業を行う

また、台風19号災害、昨年の豪雨災害などの災害復旧事業に関しては、補助災害事業の繰越事業等29箇所、町単独災害事業123箇所を行い、農業用施設の災害復旧費では合計4億円を執行している等、可及的速やかな対策、対応が

★ 語句解説 ★

問 本会議・委員会の「討論」

答 委員会や本会議の質疑の終了後、採決の前に討論があります。討論では、議案に対し賛成か反対か、理由等を述べ、自らの意見を表明することができます。また、他の議員の同調を働きかけます。

されていると評価されます。引き続き令和4年度に先送りされた工事等については町民の安全安心を求める観点から可能な限り早期の復旧を求めます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の影響やウクライナ戦争等によって、原油価格の高騰、工業、農業資材の値上げや品不足、相次ぐ食料品・生活必需品等の値上げ等によって、地域経済、住民生活への影響は日に日に増大してきています。

町民をだれ一人取り残さない、住んでいてよかったと思える長和町にするためにも、令和3年度決算の実績が、令和5年度予算編成につながることを強くご期待申し上げます。賛成討論と致します。

総務経済常任委員会審査報告



原田恵召 委員長

総務経済常任委員会

委員長／原田 恵召
副委員長／佐藤 恵一
委員／龍野 一幸
小川 純夫
渡辺 久人

9月8日(木)に開催され、所管する特別会計及び事業会計の令和3年度決算の認定について、令和4年度補正予算案について審査しました。すべて全員賛成で認定、可決すべきものと決定されました。

令和3年度長和町上水道事業会計決算の認定について

■人口減少に伴う水道使用料の減により、令和3年度の料金収入は119万円の減少となった。また、県企業局を中心に長野県の水道事業者が一体となり、長野県水道事業広域連携推進協議会を発足させた。

問 広域化計画はこの市町村と取り組んでいるのか。

答 現在、長野県内を10の地域に分けて検討が進められている。長和町は、上田市から長野市までの一本化を検討する研究会に参加している。町としては共同化が実現すれば経費の削減につながると考えている。また、料金体

系を統一することにより、規模の大きい市町村に町の使用料を負担してもらえないか、意見を述べている。

令和4年度長和町一般会計補正予算(第6号)について

既定の予算総額に1億1739万6千円を追加し、予算総額を65億3969万1千円とする。

■空き家改修費等補助金300万円の増額。

問 空き家改修補助は、空き家バンクの物件が対象か。その内容は。

答 空き家登録のある物件が対象となる。先に見積りを取って書類申請し、実績に基づいて交付する。補助対象の2分の1で100万円を限度とする。

■ケーブルテレビ施設運営費人事異動等によ

要望 今後の施設改修にはかなりの資金が必要になると思うが、使用者に費用負担を求めるのは無理がある。水道は生活に直結するもので、福祉と同じように考え、使用者に負担がかからないよう町と協議してほしい。

■ケーブルテレビ事業の町振興公社への移行は、公社が受けてもメリットがない。町の直営方式についても検討してはどうか。

問 ケーブルテレビ事業の町振興公社への移行は、公社が受けてもメリットがない。町の直営方式についても検討してはどうか。

答 振興公社あり方検討委員会がこれから本格的に始まるので、そこでケーブルテレビの状況やあり方についても協議を進めていきたい

と思っている。

■林業機械器具修繕費
チップパー、薪割り機、草刈り機の修理に93万円の増額。

問 主にチップパーを使っている団体は。また、利用するには講習が必要か。チップパーを団体に利用する場合に運搬してもらえるのか。

答 主に使っているのは別荘係。利用に関しては従来どおり講習が必要。チップパーを団体に使用する時は林務係で運搬する。

■ふれあいの湯施設改修工事等469万4千円の増額。

問 ふれあいの湯の雨漏りは、以前からあったのか。また、工事期間中は休館するのか。

答 以前よりの雨漏り箇所が増えたため、今回コーキングを行い、合わせて、排煙窓の改修も行う。工事期間は、10月下旬から12月上旬までの予定だが、休館せず、通常の休館日に主な工事を実施する。(抜粋)



チップパー(奥)と薪割り機

社会文教常任委員会審査報告



田福光規 委員長

社会文教常任委員会

委員長／田福 光規
副委員長／荻野 友一
委員／阿部 由紀子
羽田 公夫
森田 公明

9月9日(金)に開催され、所管する特別会計の令和3年度決算認定について、令和4年度補正予算案、陳情について審査しました。すべて全員賛成で認定、可決すべきものと決定されました。

令和3年度長和町国民健康保険特別会計
(事業勘定) 決算の認定について

■ 町国保の一人当たりの医療費は令和3年の速報値で約44万4千円で県内8位、保険税は約7万5千円で60位。

問 一人当たりの医療費の県内順位は高いが、保険税調定額の順位は低い。今後、被保険者の税負担が上がるということがあるか。

答 平成30年度からの国保の圏域化により、県が医療費の状況を基に市町村が負担する事業費納付金を算出する。低所得者に対する支援等もあり、現在の国保税率で事業費納付金を賄えている状況で、さらに保険税を上げることにはならないと考えている。

問 今後、県への事業費納付金は増えていく見込みか。

答 医療費を賄うために県が市町村に対して標準保険料率を示しているが、医療費が増えれば保険税も上がり、事業費納付金も増える。

令和3年度長和町介護保険特別会計決算の認定について

■ 介護給付費準備基金の令和3年度末残高は1625万円。

問 準備基金の用途は。

答 予定より介護給付費が増えてしまった時に基金の取り崩しで対応したり、保険料を上げないと介護給付費が賄えないとなった場合、基金で保険料の上げ幅を抑えることなどを想

■ 町国保会計の令和3年度末の基金保有額は約1億4600万円。

問 現在の基金積立額で十分か。

答 国保税の統一に向けて、特に低所得者に対して急激な税負担とならないよう段階的な税率改定を行っている。現残高で、被保険者の急激な負担増を最小限に抑える対応はできるものと考えている。

定している。

問 短期集中リハビリプログラムに記載に「虚弱な高齢者」とあるが、

具体的には要支援の方のことか。対象者の選定の方法は。

答 身体機能の低下が心配される方で25項目のチェックリストにより運動機能や認知機能が該当する方、フレイル

状態にある方を対象として

令和4年度長和町一般会計補正予算(第6号)について

既定の予算総額に1億1739万6千円を追加し、予算総額を65億3969万1千円とする。

■ 和田保育園修繕費で65万8千円の増。

問 和田保育園の修繕は急的なものか。今後、修繕が必要となるなら、まとめて修繕することを考えても良いのではないか。

答 和田保育園は築33年になる。今回の修繕は給食調理室天井の塗装と、水漏れのため水栓1か所、非常誘導灯2基の交換といった補修であり、応急対応ではない。(抜粋)



和田保育園

安倍元首相の国葬の 中止を求める意見書

長和町議会は、安倍元首相が演説中に銃撃により殺害されたことに対し、深い哀悼の意を表するとともに、無法な暴力に対し厳しく非難する。

政府は、安倍晋三元首相の国葬を9月27日に日本武道館で行うことを閣議決定した。

しかし、戦前の国葬令は1947年に失効しており、国葬を執り行う要件を定めた法的根拠がない現状において、国会審議を経ず、内閣設置法と閣議決定により、約16億6千万円の国費を投じて国葬を実施することは、法治主義にも議会制民主主義及び財政民主主義の原則にも違反するものである。また、当時、首相在位期間最長であった佐藤栄作元首相をはじめとする歴代首相の葬儀においても、法治主義の原則に則り、国葬としてこなかった事実もある。

今回の国葬実施の決定に対しては、多くの国民から疑問と反対の声が上がっている。報道各社の世論調査でも、国葬の実施に対し、「反対」「評価しな

い」という声が多数であり、その主な理由は、(1)個人の葬儀を国が行う根拠法が存在しないこと、(2)特定の個人の葬儀費用を税金で執行することが、法の下での平等、思想や良心・信教・表現の自由、財政民主主義を定めた憲法に反すること、(3)安倍氏の政治的な業績に対する評価は国民の中でも未だ定まっていない、等である。

本来、国葬であれば、国民からのその死を追悼する声を受け、国の三権の同意を持って執り行われるべきものであると考える。内閣が決定し、国会の承認がなく、国民に広く哀悼の意を表すことを求めない国葬のあり様は、民主主義の根幹を揺るがすものであり、議会制民主主義をないがしろにするものと言わざるを得ない。

また、こうした形で国葬を行うことが、個々の国民に対して、安倍元首相に対する弔意とその評価を、事実上押しつけることにつながるものが強く懸念される。以上の理由により、長和町議会は安倍元首相の国葬の中止を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(全文)

☆議員からの提案により、意見書を提出しました。

提案理由の説明

渡辺久人議員

政府は、安倍晋三元首相の国葬を9月27日に日本武道館で行うことを閣議決定しました。

長和町議会では、安倍元首相が演説中に銃弾により一命を落としたことに対し、深い哀悼の意を表するとともに、無法極まりない暴力に対し厳しく非難するところであります。

安倍元首相の国葬の強行は、日本国憲法を踏みにじり、さらに国民の『思想・信条の自由』を侵害するものであります。

『国葬』は、明治憲法下に

おいては天皇の勅令でありました。大正15年に定められた国葬令は戦後の昭和22年限りで失効しており、国葬を定義する法令は存在しません。さらに国葬に関する費用も国の予備費から支出される予定であります。

これら、国葬の決定、費用の支出などについて国会審議を経ずに決定したことは、日本国憲法にも違反するものであります。

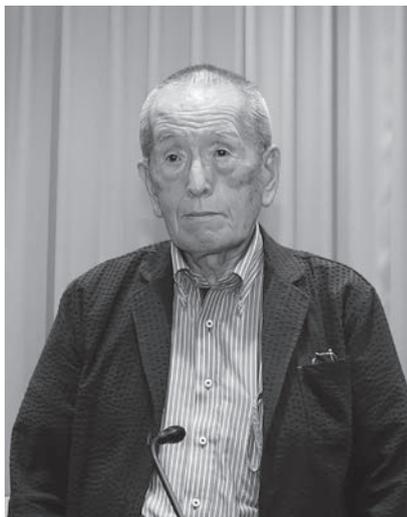
国会の承認が無く、国民に広く哀悼の意を表すことを求めない国葬のあり方は、民主主義の根幹を揺る

がし議会制民主主義をないがしろにするものであります。

国の葬儀としての国葬を実施することによって、



渡辺久人 議員



小川純夫 議員

全くこの意見書と逆の評価をしている方もいらっしゃると思います。ですから我が議会として、この意見書を全会一致

ただ今提案された意見書の趣旨は、連日マスコミで騒がれている通り、よく理解しております。
しかし、もうあと10日余りで現実に執行されることに對して、ここで敢えて中止の意見書を出したところで、どれほどの効果があるか。趣旨には賛成ですけれ

ども、イエスカノーかということになれば、私は消極的な賛成として、いくつかが反対とする問題点を上げたいと思います。
一つは、私も議会議員は町民の負託を受けて出ているわけですが、町民全ての代表ではないということでもあります。町民の中には

反対討論

小川純夫議員

個々の国民に対し安部元首相への弔意と政治の肯定を事実上押しつけることに繋がる怖れがあることが強く懸念されます。
以上の理由により、長和町議会として、安倍元首相

の国葬の中止を求めるものであります。
議員の皆様には趣旨のご理解と賛同をよろしくお願ひ申し上げ、提案理由の説明と致します。
(要旨)

長和町は、「長和町気候非常事態宣言」を宣言し、自然豊かな環境を守り、地球温暖化対策に取り組みます。



長和町気候非常事態宣言

～ 美しき耀きを後世へ 2050 ゼロカーボン ながわ ～

私たちのまち長和町には、緑の山なみ、澄んだ空気、豊かな水、悠久の時間が醸す風土や文化、いきいきと暮らす人々の笑顔があります。

そして、先人から引き継いだ、このすばらしい長和町の自然環境を守り育て、後世に残していくことが私たちの使命です。

しかし、近年の温室効果ガスの排出増加に起因した「地球温暖化」により、世界各地で大規模な自然災害が発生し、甚大な被害をもたらしております。この自然災害は、長和町においても住民生活に多大な被害をもたらす極めて深刻な脅威となっております。

このため、気候が既に異常な状況にあるとの危機感を町民及び事業者と共有し、省エネルギーの徹底、自然と調和した再生可能エネルギーの導入等の地球温暖化対策への取り組みは必要不可欠であります。

自然豊かな環境を守り、誰一人取り残さずことなく、持続可能な心地よい生活を将来の世代に引き継いでいくため、ここに気候非常事態を宣言し、住民、事業者、行政が一丸となって、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロの実現を目指します。

そして、長和町の美しき耀きを後世へ引き継ぎます。

令和 4 年 8 月 29 日

長和町長 羽田健一郎

で可決するのは如何なものかと思しますので、あえて反対としたいと思えます。
それからもう一つは、どうもパフォーマンス的な匂いが致します。ここにマスコミの方も傍聴されていますが、連日、地

方議会で今国葬に反対の意見書が可決されたというところが出ております。こうした状況だからこそ近隣町村の動向を注視しなくては行けないのではないかと、あるいは長野県全体でどのような動きになっているかとい

うことも考慮すべきではないかと思えます。
いずれにしろ遅きに失していることですので、そんな強い反対ではありませんが、敢えて反対意見を述べさせていただきます、討論を終わります。
(要旨)

1, 田福 光規 議員 …………… P.19

- (1) 加齢性難聴者の補聴器購入助成について
- (2) 「マルシェ黒耀」の現状と今後の課題について
- (3) 「新型コロナウイルス感染症」への対応と対策について

2, 渡辺 久人 議員 …………… P.20

- (1) 「福祉防災」について
- (2) 町道路の支障木などの管理について
- (3) 通学路危険個所のその後の対応について

3, 原田 恵召 議員 …………… P.21

- (1) コロナ禍における町の対応について
- (2) 少子高齢化問題について（高齢化問題）
- (3) 魅力ある温泉施設にするには

4, 阿部 由紀子 議員 …………… P.22

- (1) 保育園の白米持参システムについて
- (2) 町内の食品加工所の現状と利活用方法について
- (3) 町民の健康推進の場所づくりについて
- (4) 協同電子図書館「デジとしよ」について

5, 荻野 友一 議員 …………… P.23

- (1) 長和町長期総合計画における防災体制の確立について
- (2) マイナンバーカードについて

6, 龍野 一幸 議員 …………… P.24

- (1) 鳥獣による農林業被害防止対策について

7, 羽田 公夫 議員 …………… P.25

- (1) 学校の諸物価高騰とコロナ対応について
- (2) 選挙立会人の一般公募について
- (3) 「長久保—青原線」の道路拡幅について

8, 佐藤 恵一 議員 …………… P.26

- (1) 再生可能エネルギーの地産地消の取組
- (2) 牧場の牛糞堆肥と地域内（生ごみ・下水汚泥）資源循環型堆肥

質一般 問般

8人の議員が 町政を問う！

9月定例会では、8月31日（水）9月1日（木）に一般質問が行われ、8人の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。「議会だより」では、誌面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約して掲載しています。



田福 光規
議員

「マルシェ黒耀」の現状と今後の課題について

令和3年度の「マルシェ黒耀」の売上は

令和2年度比5116万円の増である

町は「マルシェ黒耀」の管理運営にあたり、(株)マルメロエイトと指定管理契約を結んでいる。指定管理の期間は令和2年4月1日から令和5年3月31日までの3年間で、指定管理料は年間1800万円である。

問 令和3年度の売上額、経営収支は。

答 産業振興課長 令和2年度の売上1億5700万円に対し、令和3年度の売上は2億816万2千円で、5116万2千円の増となっている。

問 今年度の4月～7月の売上状況は。

答 産業振興課長 前年に比べ、4月は342万円25%増、5月は711万円45%

増、6月は367万円25%増、7月は274万円16%増である。

問 「JA信州うえだ」から出向されている2人の委託経費(480万円/年)は、今年度どうしているか。

答 産業振興課長 出向者の委託経費は、全て指定管理者が負担している。

問 地元の農産物の販売金額とその割合は。

答 産業振興課長 4～7月の販売総額で、地元の農産物は、昨年は789万3千円(43%)、今年は967万円(37%)となっている。昨年に比べ、仕入品との比較で地元農産物の出荷品割合は下がっているが、売上額は増えており、割合だけ

を見て地元農産物の出荷品が少ないという判断はできないと考える。

問 地元の農産物を増やすために取り組んでいることは。また、その課題は。

答 産業振興課長 常に地元農産物を増やすための取り組みを行っており、わずか

ずつだが出荷者数は増えている。課題は沢山あるが、特に、キュウリ・トマト・ナスなど同じものが同じような時期に大量に出荷されるため、捌ききれず翌日引き取ってもらうことが多いと聞いている。

るところではあるが、今年度に入り微増していることや福祉面で考えれば利用者がいる以上、継続すべきであると考ええる。(抜粋)

「宅配」の取り組みとその現状は 伸び悩んでいる

問 「マルシェ黒耀」の開設目的で、町民への福祉的な役割として大きな位置を占めている「宅配」の取り組みと現状は。

答 産業振興課長 「宅配」は令和2年度は4件、令和3年度は途中から1件減り3

件、令和4年度現在は5件という状況である。宅配事業者が競合していることなどが主な原因と思われるが、伸び悩んでいる状況である。本来、民間企業とすれば、採算の合わない事業においては撤退などを考え



農畜産物直売所「マルシェ黒耀」



渡辺 久人
議員

「福祉防災」について

「災害時要支援者」の個別計画作成状況は 防災避難チームを立ち上げ、協議している

問 昨年提案した「個別避難計画」作成にあたっては役場内さらに民生児童委員、地域の介護・福祉施設等の関係者と連携を図って作成できたのか。また、対象となる者の優先度はどのようにランク付けしたのか。

答 **町長** 課を横断した防災避難チームを立ち上げ、災害時における迅速な対応ができるよう関係機関を含め協議をしている。

答 **総務課長** Aランク最重度は、在宅で寝たきりで専門的医療的ケアを伴う方など公助を必要とする方、また、Bランク重度・Cランク中度については、共助での支援が必要な方としている。

問 災害時に、避難生活が困難な高齢者や障害者、妊婦などに配慮した「福祉避難所」を5施設指定しているが、その後の指定さらに協定はできたのか。

答 **総務課長** 5施設のままだが、山の子学園が古町地区に移転したことから、同学園と協議の上、協定の締結と福祉避難所の指定を進めていきたい。

町道路の支障木などの管理状況は

支障木は植えた方が、破損は町が行う

問 国、県、町道は道路法第30条等関係法令で、「道路上の安全な通行を確保するため、車道の上空4・5m、歩道の上空2・5mの範囲内に障害となるものを置いてはならない」と規定されている。

五十鈴川沿いの桜が植えられている敷地の所有者は誰か。町所有地であれば、

だれが植えても町で管理すべきではないか。

答 **建設水道課長** 所有者は把握している。町の道路敷になっっている所もあり、町が主体的に適正な維持管理に努めるべきだが、植樹や管理についても町以外の団体であったことから、管理団体に適正な管理に努めるよう依頼した。

問 道路の陥没、舗装の剥がれ、亀裂、さらに道路の付属物の破損など道路には様々な危険があるが、このような危険箇所の把握はどのように行うのか。早急な対応は可能か。

答 **建設水道課長** 町は長和町郵便局と協定を結んでおり危険な箇所の通報を頂いている。

現在、建設水道課に包括職員が2名おり、迅速な対応を行っている。また、土木専門委員11名の方に応急処置を行っていただくことを所掌事務の一つとしている。

また、役場職員の通勤時や町内の移動時に把握をしている。



町道に迫り出す樹木（長久保）



原田 恵召
議員

コロナ禍における町の対応について

感染者が大幅に増えた原因と対応は

全国的な感染拡大に、学級閉鎖・休館で

問 第7波で感染者が大幅に増えた原因をつかんでいるのか。また、子どもから親への感染があったそうだがどうなのか。

答 総務課長 主な要因として、感染力の高いオミクロン株「B.A.5」への置き換わり、時間経過によるワクチン効果の減少やワクチン接種率の低い若者や小児への感染拡大、強い行動制限を行わないことによる全国的な感染拡大などが考えられる。

町で初めて陽性者が確認された20年8月から本年6月までの陽性者数が75人に対し、第7波の始まった7月以降8月29日までに29

5人の陽性者が確認されている。当然、家庭内感染による広がりもあったと思われる。

問 施設の閉鎖や早期の対応をしていればここまで増えなかったのではないか。

答 こども・健康推進課長

保育園では毎日、職員により、施設や遊具等の拭き消毒などの感染対策を行い安心な保育に努めているが、保育園における接触等の状況によっては翌日よりクラス閉鎖を行うなど早急な対応に努めている。保護者への連絡については、登園等の状況により保育園内での接触の可能性がある場合は、一斉メール配信システムで全保護者に連絡を行

っている。

クラス閉鎖の対応は、活動内容や接触等の状況にもよるが、最後に接触した日から濃厚接触者の待機期間である5日間を目安として、接触状況に応じて家庭での健康観察をお願いしている。

答 教育課長 児童館、児童クラブでは、8月に複数の



新型コロナウイルス抗原検査キット

陽性者が確認されたため臨時休館の措置を採った。その後の感染状況を踏まえ、通常の休館日及びお盆休みも含め11日間を休館とし、

休館中に施設内の消毒作業を徹底して実施した。施設の閉鎖や早期の対応については、できていたのではないかと考えている。

長和町の65歳以上の高齢化率は43%で、県内市町村20番目である

問 長和町の高齢化率はどのくらいか。また、それは平均的な数字なのか。

答 町民福祉課長 令和4年

4月1日現在、長和町の高齢化率は43.0%で、県内77市町村のうち20番目となっている。これは、県の高齢化率32.8%と比較しても高い状況である。また、75歳以上の後期高齢化率は、22.1%で県内26番目とこ

ちらも高い状況である。

長和町は同規模町村と比較して、一人暮らし高齢者（独居高齢者）・高齢者のみの世帯の割合が高く、また、要介護認定率も高いという状況である。そのため、介護度が高くなると在宅での生活が難しくなる現実があり、今後も介護予防・重度化予防に力を入れていきたい。（抜粋）



阿部 由紀子
議員

保育園の白米持参システムについて

保育園で主食を提供し、完全給食に 保護者の考えやニーズ調査し、検討する

問 保育園の3歳児以上の主食は現在、月曜と火曜の週2日のみの提供となっているが、これは戦後間もない頃からのルールが現在にも

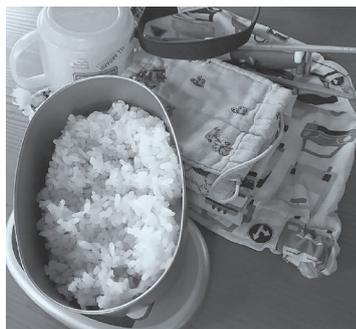
続いているようである。共働きが増えた今、自治体が主食の費用を賄ったり、主食の持参を廃止する動きが出てきている。長和町としてはこの問題をどうとらえるか。

答 **町長** 子育て日本一をめざす長和町においては独自の子育て支援として、保育料の軽減率拡充や3歳児以上の副食費の無償化を行っている。

問 主食代を払ってでも園で炊き立てのご飯を提供して欲しい、有機給食であ

れば尚嬉しいなどの、住民の声もある。毎週月曜や誕生会には園で人数分のご飯の提供があるのでシステムは揃っていると思う。主食の持参廃止は、働く母親の

手間を減らすだけでなく、物価高騰による家計への圧迫を助け、弁当箱が自宅と園を行ったり来たりするのを辞めることはコロナウイルス対策にもつながる。町での給食費無償は子育て世代



ご飯のお弁当を持参

に大変助かっている。保育園で主食の提供に向けて検討して頂きたいがどうか。

答 **子ども健康推進課長** オムツの持ち帰りや主食の提供などについて、「保育

町にある食品加工施設の有効活用を

ホームページや広報などで周知していく

問 現在、町で町民に貸し出しができる食品加工所はどのくらいあるのか。また、加工して販売できる品目や種類はそれぞれ何か。

答 **町長** 現在貸し出し可能な加工所は2か所、一つは長門地区の「活性化施設蔵」で、味噌、豆腐、トマトなどのソース類、ジュース、ジャム、ドライフルー

園の利用に関するアンケート」を9月上旬に行い、保護者の考えやニーズを調査し、町の財政状況等も勘案して今後の保育園での保育の方向性を検討していく。

がなければ長野県食品衛生協会が主催している講習会を受ける。加工品等により資格が異なることもある。

ツ、菓子類。二つには和田宿ステーションに隣接する「女性・若者等活動促進施設」で味噌、菓子類、パン類、総菜類などが加工できる。

問 利用するにあたっての必要な資格や項目は。

答 **産業振興課長** 営業許可を上田保健所に申請し許可を受ける必要がある。食品衛生責任者が必要で、資格

問 こうした施設があることはあまり町民には知られていないように思う。もっと

広く周知すれば新たな商品が生まれ、維持費の捻出にもつながる。料金や販売できる品目を分かりやすく提示して町内外の方への利用を働きかけてみては。

答 **産業振興課長** 年間5、6件の問い合わせがある。加工品の重複や利用期間が集中して空きがないことも考えられるが、施設について知らない方のためにホームページや広報などで周知していきたい。(抜粋)



荻野 友一
議員

長和町長期総合計画における防災体制の確立について

町の防災はどのようにすすめるか 町民と協働で、生命と財産を守る

問 「協働で実現できる町づくり」の観点で、災害時における町の施策はどのようなものか。

答 町長 「長和町気候非常事態宣言」を行い、異常気象による災害への対策を推進していく。

問 自主防災組織の目的、災害時の具体的な活動はどのようなものか。

答 総務課長 自主防災組織は「共助」にあたり、自覚・連帯感に基づいて自主的に防災活動を行い、平時は危険個所の把握、各種訓練、必要物資の備蓄。災害時は避難所の開設、情報収集を行う。

問 災害時に人的被害をゼロとするために、様々な情報

の収集と伝達が必要だが、具体的な施策はどうか。

答 総務課長 災害対策及び災害対応において情報の活用が非常に重要となる。備える情報として、ハザードマップの配布や避難行動要支援者名簿の提供を行っている。

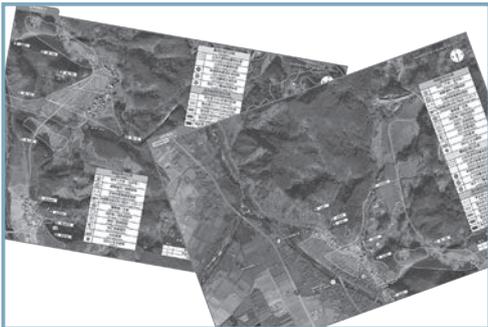
問 災害時、消防団への負担が大きいと思うが、民間企業との提携や人的な補助などの施策はどのように考えているか。

答 総務課長 災害時における消防団活動の役割は非常に重要である。災害が長期にわたる場合、団員にかかる負担も大きくなるので、消防団員の処遇の改善や定数制への移行など、地域防

災力の確保に向け様々な方法を検討していく。

問 きめ細やかな防災対策のためには、地域ごとの雨量の把握や水路の状況を的確に災害本部が把握できるネットワークが必要だが、どのように構築するのか。

答 総務課長 行政職員や消防団による巡回や、住民か



ハザードマップ(古町地区)

らの情報提供などから実際の状況について情報収集を行なっている。今後、自

主防災組織の設立を進め、ネットワーク作りについても検討していく。

マイナンバーカードの目的と意義は 公正・公平な社会の実現のための基盤

問 マイナンバーカードを普及させる目的と意義は。

答 町民福祉課長 システムの構築ができると、全国のコンビニ等で住民票等の各種証明書の交付を受けられる。町では今年度中に利用可能になる予定である。

答 町長 マイナンバー法に基づき、全国民が個人番号を持つもので、社会保障・税・災害対策の分野で効率的に情報を管理し、国民の利便性の向上、行政の効率化、公正・公平な社会の実現のための社会基盤として平成27年に始まった。

問 マイナンバーカードの将来における展望はどうか。

答 町民福祉課長 行政手続きのワンストップサービスに対応するために、住民目線に立った行政事務のデジタル化、オンライン化の検討をすすめる。

問 カードを利用した住民票などのコンビニ交付システムの進捗度は。

(抜粋)



龍野 一幸
議員

鳥獣による農林業被害防止対策について

捕獲した獣の処理施設は考えられないか 町単独では困難。広域で調査検討していく

問 有害獣の地中埋設の作業

軽減化のための一例として「微生物分解施設」や食肉加工施設の導入などは検討できないか。

答 産業振興課長 報奨金は捕獲後の処理作業も踏まえて支出している。

生物分解施設は埋設処理の手間が省け作業軽減になると言われている。国においても、ジビエ振興やペットフード等新用途開拓に利用量の増加を目指し、食肉加工施設や移動式解体処理車の活用が示されている。しかし、建設場所や維持管理等を考えた場合、町単独では負担が大きく広域での導入を考えていきたい。また、施設に持ち込む捕獲者

の負担もある。

問 町民の狩猟免許取得を促進した場合、止め刺しから処理施設までの運搬等を行政側で対応できないか。

答 産業振興課長 狩猟免許を持たない行政職員は止め刺しはできない。また、広大な範囲で捕獲を行っており、捕獲場所への案内、待機や移動時間を考慮すると難しいと考える。

問 運搬路の整備や地中埋設地を確保できれば、捕獲数は更に増やせるという、現役捕獲従事者の意見があるが。

答 産業振興課長 地中埋設箇所に関しては調査した経緯があり、町有地を条件とし、腐敗臭等の対策から集

落から離れた場所を条件としたが選定できなかった。

林道整備に関しては通行できない2か所の災害路線の復旧を急いでいる。森林組合との協力体制は今後さらに強化していきたい。

に強化していきたい。

問 町内の国有林内にある採石場を、捕獲後の個体の埋設箇所として活用できないか。

答 産業振興課長 関係する

地区の捕獲従事者に、まずその付近を利用するか確認していく。

問 県の鹿捕獲頭数予算は4万頭で、県全体のここ数年の実績は3万頭前後である。町の当初予算4000頭

分に対し、実績は毎年約1000頭。当町の捕獲頭数予算を増やし更に捕獲数を増やすべきと考えるが。

答 産業振興課長 県は国からの補助を元に各市町村へ配分している。県の予算内から当町の捕獲実績に応じて配分されるもので、数値の調整は難しいと考える。町の頭数予算に関しては予算編成時に協議していく。

(抜粋)



誤って捕獲した熊を放獣する



佐藤 恵一
議員

再生可能エネルギーの地産地消の取り組み

再生可能エネルギーへの取組による発展は

ポテンシャルを調査し、計画を策定したい

生ごみ・下水汚泥資源循環型堆肥の町内配布は

年2回、希望者への配布を行っている

問 「気候非常事態宣言」等に対する町の対応は。

答 町長 長和町の今後の町づくりの方向性を示す重要な課題であり、既に副町長をリーダーとして関係者により検討を進めている。

問 再生可能エネルギーへの取組による地域発展、地域住民への還元施策は。

答 町民福祉課長 町の再生可能エネルギーのポテンシャルを調査し、地方公共団体実行計画を策定したい。

問 脱炭素社会を目指す町として、小水力発電の可能性はどうか。

答 町長 現在、長野県企業局による新規水力発電調査として、砂防堰堤等における調査を行っている。結果

により採算性がある場合は発電所の設置について検討したい。

問 野々入地区(和田)での飯山の藤巻建設による水力発電施設が検討されているが、「地域連携型水力発電所」としての連携は模索しているのか。

答 建設水道課長 地元との協議終了後、地域活用要件として町の防災計画に位置

づけ、連携を図る予定である。

問 住民への地球温暖化対策設備設置補助金制度(太陽光、蓄電池、まきストーブ購入補助等)について、令和5年度の予算措置の検討はされているか。

答 町民福祉課長 短期、長期的な展望に立って適切な予算措置を検討したい。



生ゴミ堆肥化処理施設

問 長門牧場の牛糞堆肥について令和5年度から一般配布を中止すると聞く。町民からは配布継続の声があるが町の考えは。

答 産業振興課長 配布の中止は5月の長門牧場役員会において確認されている。

問 肥料価格高騰の下、地域内(生ごみ・下水汚泥)資源循環型堆肥は、小規模農家

や高齢者農家まで行き渡っているか。

答 町民福祉課長 生ごみ堆肥は、令和2年度以降において生産された堆肥については、以前のもの比べ改善されており、利用者からは以前より品質が良くなったとご意見を伺っている。

毎年4月と10月に音声放送と告知放送によりお知らせし、希望者へ配布を行っている。それ以外でも堆肥がある場合は随時配布が可能である。
(抜粋)

依田窪医療福祉 事務組合議会

9月21日(水)、依田窪医療福祉事務組合議会令和4年第2回定例会が開催され、令和3年度決算等について審議を行い、すべての議案が、全員賛成で認定・可決されました。

■令和3年度依田窪病院事業会計決算について 収益的収支の状況は、和田診療所も含めた全体での事業収益が30億6083万円、事業費用が29億7229万円で差引

8853万円の経常利益となり、これに固定資産の除却などの特別損失を加えた結果、7779万円の純利益を計上した。

これは、新たな内科医師や薬剤師などの採用が叶い、小児科医が固定で勤務するなど医療体制を強化することができたこと、コロナ禍において多くの困難が伴う中でも、公立病院の役割としての地域医療体制を整え、上田市・長和町をはじめとする地域の多くの患者を受け入れてきたことによる。

(報告：荻野友一議員)

令和3年度 依田窪病院事業会計決算概要

◆患者数の状況 (単位：人)

区分	令和3年度	対前年増減
外来患者数	54,568	2,585
入院患者数	32,106	△795
和田診療所患者数	1,571	△104
1日患者数	225.5	11.6
1日入院患者数	88.0	△2.2

◆収益的収支 (単位：千円)

区分	令和3年度	対前年増減
事業収益	3,060,827	48,571
医業収益	2,354,812	9,885
医業外収益	680,727	41,080
和田診療所収益	25,286	△2,395
事業費用	2,972,294	69,195
医業費用	2,799,606	70,229
医業外費用	147,400	1,360
和田診療所費用	25,286	△2,395
経常損益	88,533	△20,624
特別損失	10,748	3,840
純損益	77,785	△24,464

上田市長和町 中学校組合議会

9月21日(水)、中学校組合議会令和4年9月定例会が開催され、令和3年度一般会計決算の認定、令和4年度一般会計補正予算について審議を行い、全員賛成で認定・可決されました。

■令和3年度一般会計決算の認定について 歳入1億2288万6千円、歳出1億2104万7千円、差引残額183万9千円。組合負担金は1億264万8千円で、市町の負担割合は、長和町60・66%、上田39・34%である。(表2)

■令和4年度一般会計補正予算について 歳入歳出に86万8千円を追加し、予算総額を1億2406万8千円とする。歳入増の主な理由は、令和3年度決算が確定したことによる繰越金23万8千円、新たに公立学校情報機器整備補助金18万円、コロナ対策の学校保健特別対策事業費補助金45万円が決定したことによる。

(報告：田福光規議員)

表2 上田市長和町中学校組合一般会計の主な歳出決算額 (単位：千円)

款	項	令和3年度	令和2年度	前年比	摘要
議会費		167	167	0	
総務費	総務管理費	2,577	639	1,938	個別施設計画策定委託 1,958
	監査委員費	45	46	△1	
教育費	教育総務費	10,307	9,865	442	
	中学校費	95,778	106,946	△11,168	図書館照明LED化工事 1,298 施設整備事業基金積立金 8,000
公債費		12,172	11,001	1,171	
予備費		0	0	0	
歳出決算額		121,047	128,665	△7,618	



特別養護老人ホーム「ともしび」を視察

町内では、デイサービスセンター和田と長門、グループホーム和田、小規模多機能型居宅介護「大門の家」等の事業を行っており、なくてはならない社会福祉法人です。

現在の最大の課題は職員の確保で、新卒者等を確保するのが難しい状況であるとの説明がありました。総職員数は平成22年の149名から令和2

社会文教常任 委員会で依田 窪福祉社会視察

社会文教常任委員会では7月1日(金)依田窪福祉会の「デイサービスセンター武石」、「特別養護老人ホームともしび」の2施設の視察と、依田窪福祉会の渡邊理事長他4名の方との懇談を行いました。

依田窪福祉会は、1996年に、依田窪南部3ヶ町村により設立され、「地域の方々の安心・安全な自立生活の支援」を理念に、介護サービスをはじめ、生活に必要な様々な福祉サービス

を実施しています。長和町内では、デイサービスセンター和田と長門、グループホーム和田、小規模多機能型居宅介護「大門の家」等の事業を行っており、なくてはならない社会福祉法人です。

現在の最大の課題は職員の確保で、新卒者等を確保するのが難しい状況であるとの説明がありました。総職員数は平成22年の149名から令和2

年108名、41名も減少しています。手当などを増額しているが、なかなか確保できないとのことでした。

今後の課題として、「ともしび」を建設してから25年が経過して施設の老朽化が進み、デイサービスセンターも含め、建て替えが必要であるとの説明がありました。議会としても検討していきたいと思えます。

(報告：田福光規委員長)

上田地域広域 連合議会管内 視察に参加



「依田窪齋場」で研修

7月6日(水)上田広域連合議会では、広域連合所管施設の現状を理解するため依田窪齋場と上田創造館を視察しました。長和町からは広域議会議員の森田、渡辺議員が参加しました。

依田窪齋場は、上田市丸子・武石地域と長和町の総人口3万人余を対象として平成8年に稼働を開始しました。施設には、火葬炉2基・動物炉1基・異物炉1基、炉前ホール、収骨堂、霊安室、待合室、駐車場な

どがあります。

建設事業費は6億6千万円余、平成10年度から上田地域広域連合で運営されています。平成22年度から指定管理による運営を開始し、現在の指定管理者は令和4年度まで(株)信州さがみ典礼です。

令和3年度事業実績は利用件数576体、1日平均1.6体、ペット火葬は668件と近年増加しています。事業開始から26年が経過していますが施設敷地内は整然と管理されており、建物全体も清楚で清潔に整備されていました。火葬炉本体の作業場も視察しました。修繕費等は毎年計上され、大規模な修繕は10年毎に行われています。

上田広域管内には、大星齋場と依田窪齋場の2施設があります。広域の事業として施設改修・整備を行うていく必要があります。

(報告：渡辺久人議員)



議会改革検討 委員会で上田 市議会を視察

「議会 ICT 推進研修会」上田市議会

長和町議会では、議会の見える化（町民に開かれた議会）、効率的な議会運営、議会・議員の活性化などを目的とし「議会 ICT 推進プロジェクトチーム」を令和元年に組織し活動を進めて参りました。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、教育現場や一般社会においてもオンライン化が普及し、授業や会議、テレワーク等働き方に大きな変化が生

長和町議会改革検討特別委員会では、7月7日（木）、ICTによる議会・議員活動の効率化省力化等を研究するにあたり、昨年度タブレット端末等を導入した上田市議会を視察しました。研修では、上田市議会 ICT 推進議員連盟の半田大介会長から上田市の状況について説明を受けました。導入まで（約3年）の流れと、導入後の課題や問題点及びその対処など詳細な説明を頂きました。

じました。議会においても議案書や説明書、会議資料等を電子化し、ペーパーレスによる経費削減、危機管理強化も視野に、議会の更なる活性化に向けた事業推進を図る一方、国からの助成金等を調査し、イニシャルやランニングコストにおいても町民の皆様にご理解頂く内容となるよう、協議して行く予定です。

（報告・龍野一幸議員）

とを 立科町議会 議員研修会 開催

7月8日（金）長和町鷹山「黒耀石体験ミュージアム」において、「立科町・長和町議会議員研修会」が行われました。

立科町議会との研修会はコロナ禍に入った令和元年以来3年ぶりでした。立科町議会の皆さんは、最初にミュージアム館内と「星くそ館」の視察を行い、その後、黒耀石のグッズづくりを体験して頂きました。

グッズづくりを終え、大竹文化財担当課長より、初



立科町議会議員と「黒耀石体験ミュージアム」で

代黒耀石大使の活動やイギリス訪問での交流会の様子など、当時の様子をスクリーンを使い説明がありました。これまでの長い取り組みにより、昨年「星くそ館」が誕生した経緯についてもお聞きしました。次世代を担う黒耀石大使たちのこの数年のコロナ過での状況や今後の予定も聞き、黒耀石や黒耀石大使が長和町の大切な財産であることを改めて確認することができました。

立科町の議員の中にはスキーを楽しむ方もおり「たかやまスキー場はとても良いです。スキー場で、毎年利用している。」3名の女性議員も活発な様子で「私も移住者で立候補をしました。これからも情報交換などしながら町を元気にしていきたい。」という声もありました。

（報告・阿部由紀子議員）



長野県町村議会議員研修会 に出席

「議会におけるハラスメント」研修

◎命を守る防災のコツは早く逃げる事だが、「逃げられない人もいる」ことを起点として考え、誰もが安心して暮らせる世の中の構築を目指す。

(2) 「議会におけるハラスメント」

- ・パワハラ発言により政治的に致命的な深傷を負った国会議員の事件がある。
- ・地方議会におけるアンケート調査でも、他

7月14日(木)松本市キッセイ文化ホールにおいて開催され、長和町議会からは8名の議員と事務局が出席しました。

(1) 「町村自治体の防災・減災対策と災害時の議会議員の役割」

- ・地域の高齢化に伴いコミュニティの崩壊が進みつつある。在宅高齢者支援の対策計画が早期に必要。
- ・災害時の議会、議員の活動方針の策定。議会運営等行動指針のマニュアルを早期策定する必要がある。

の議員からのセクハラ・パワハラを受けたとする回答が14%。・女性の政治参画に関しては議員活動中に約半数がハラスメントを受けたと回答。

◎議員の呼称を「先生」から「さん」と変えると同僚意識につながる。自分の行為が他人に対して許容されるのか謙虚に自らの行為を振り返ることが原点である。

(報告：羽田公夫議員)

下諏訪町議会と議員研修会 を開催



下諏訪町議会議員と「ローイングパーク」で

会議員選挙を前に、無投票が続いている議員選挙の現状について研修しており、先ず長和町森田議長から長和町の状況について報告がありました。

続いて、各議員から自己紹介を兼ねて3分程度発言を行いました。全員が1人ずつ発言する手法はテーマによっては有効であると思えました。

7月20日(水)、下諏訪町において「下諏訪町・長和町議会議員研修会」を開催しました。

最初に、下諏訪町が掲げる「健康長寿のまちづくり」を実現するための施設「健康フィールド・健康ステーション・ローイングパーク」を視察し、設置されたマシン等を体験しました。

役場庁舎に戻り、「議員のなり手不足について」意見交換会を行いました。下諏訪町議会では、来年の議

議員は概ね地域の代表として活動しており、地域住民との密接な関係を構築することが議員のなり手不足解消の手段として必要との意見が多いと感じました。また、下諏訪町は政党からの立候補も多く、総じて地区懇談会などを通じて住民との意思疎通を活発に諮っている状況がわかりました。定数削減と議員報酬の見直しは並行して考えるべきですが、自治体の事情により難しい問題であると感じました。

(報告：佐藤恵一議員)



「救急救命講習」実習

広域消防署員による救急救命講習を受講

7月25日(月)長和町役場町民ホールにおいて、講師に依田窪南部消防署救急係長荻原聖二さんを迎え、議会議員が非常時に対処できるように、救急救命講習を受講しました。参加者は事前にWEB講習を修了し、講習会に参加しました。

最初に座学で、基礎知識、応急手当と救命処置、住民の役割、心停止の早期認識と通報、一時救命処置などについて学びました。

救命処置では、心肺蘇生の手順として、1安全の確認、2反応(意識)の確認、3通報と協力者への依頼、4呼吸の確認、5胸骨圧迫、6人工呼吸、7AEDの使用、8AEDの使用と心肺蘇生の継続、を確認しました。

その後、人体を見立てた人形を使って実際に動作を確認しました。頭では理解しているつもりでも、実施してみると細かい体の使い方など分から

森田議長の「議会概説」(7)

● 新型コロナウイルスの活動もようやく弱くなりつつあり、人の経済文化活動も少しずつ復活。議会も皆さんの意見を伺うため、動き出します。

問 「討論って何？」(P.13の語句解説に補足)

答 今議会では、**決算認定**、**意見書案採決**前に**討論**がありました。議会の討論は主張を直接交わすのではなく、順に**賛否**を主張する**演説**をします。討論をする議員が2人以上いるときは、議案に**反対者の発言を最初に**、次に**賛成者の発言**を行い、**賛成・反対の討論を交互**に行います。 ● 次回から本会議の流れに沿って概説します。

ないことが多く、実践で対応することができるようになったと思います。また、AEDの操作を確認したことも有意義でした。

その他、気道遺物の除去、乳児の救命処置、止血法などについて学び、普通救命講習修了証を頂き、講習会を終了しました。現場に遭遇した時に落ち着いて対応できるよう、これからも機会をとらえ訓練に臨みたいと思います。

(報告…荻野友一議員)

マチイロ
マチを好きになるアプリ



■ マチイロアプリを入れると、スマホやタブレットでながら**まち議会**がより見ることが出来ます。



★表紙写真の説明★

〈「下諏訪レガッタ」に出場〉

9月4日(日)に、下諏訪町の「諏訪湖ローイングパーク」で開催された「下諏訪レガッタ」に3年ぶりに参加しました。



ナウイ
ル入感
染症の
影響も
あって

参加を見合わせていました。種目は、舵手1人と漕手4人で1艇をつくる「ナックルフォア」500mで、大会には68クルーがエントリー。長和町議会は、新人議員を中心に阿部議員が入った男女混合の「ミックスバトル」に出場しました。大会前に漕艇協会の皆さんに指導を受けて5回ほど練習。快晴の下、懸命にオールを漕ぎました。結果は、予選3位、敗者復活戦4位でした。

長和町 あの人を訪ねて

— 第14回 —



ふたみ りさ
二見 理咲 さん
(学者村)

略歴・活動

1990年 漫画家 本山理咲 デビュー
2010年 長和町に移住
現在、学者村にて「ちくちく鳥」「こぎつね文庫」主宰。

広報常任委員会が町民の皆様を訪ねて、意見や活動をお聞きします。

問 どのようなお仕事を？

答 大学時代にデビューして以来、漫画、イラストなどを描くことを仕事としてきました。漫画家といってもエンターテイメントというよりは、心理的なことを描くことが多いです。

「朝日中高生新聞」で連載中の「朝日くる」は今年、連載900回を迎えました。作品は、中学道徳の教科書などでも採用されています。令和3年度版「中学道徳3きみがいちばんひかるとき」(光村図書)は、長野県内の

中学校で使って頂いています。

問 長和町に移住したきっかけは？

答 父が、「いつか別荘を立てよう」と用意していた学者村に家を建てました。自然豊かな長和町で、子育てと創作活動をしたいと思ったからです。介護や自身の病気のことで大変な時期もありましたが、町の皆様に見守っていただき、乗り越えることができました。

4歳で越してきた息子も今はもう高校生。ここで子ども時代を過ごせたことを本当によかったと言っています。

たと言っています。

問 長和町での今後の活動は？

答 「ちくちく鳥」というブランド名で、絵はがきなどを作っています。長和町での日常や自然を、森の中に暮らす小さな女の子の物語に変換して、絵にしていきたい。また、前号掲載の、勝負工房・勝負幸枝先生に教えて頂いた「紙布織」の貴重な技術が絶えないよう、微力ながら少しづつでも続けていきたい。これはライフワークとし、この町に腰を据えてゆとり取り組んでいきたいと思っています。

学者村内の私設図書館「こぎつね文庫」では、息子が小さい頃に読んだ本、仕事柄集まってくる本、寄贈していただいた本などを地域の方に貸し出しています。開館日はネット上や学者村内の看板に掲示しています。ゆとり過ぎせる場所を用意していますので、お気軽に遊びにいらして下さい(冬季は休館)。

最後に：議員さんたちのイラストは私が描きました。親しんでいただければ幸いです。

長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の考えなどを掲載しています。第68号は、**原田恵召** 議員です。

▼ 昨年の議会議員選挙から誰もが立候補できるよう、町村でも選挙公営が行われるようになりました。▼ 選挙ポスターや選挙ビラの作成、選挙用自動車の借上と運転手の日当などが町費から支払われるというものです。▼ 報告された支出の最高額は72万円、最低は15万円弱、平均で40万円でした。選挙公営分も支出に計上するので、実際の支出平均は20万円ほどになっていると思われれます。▼ 供託金制度も始まり、町村の議員選挙の場合は15万円を供託します。供託金の没収(国庫に納付)は投票者数÷議員数÷10なので、長和町では50票取れば後から返ってきます。市ではすでに行われていた制度が町村にも拡大したということです。

ながわまち 議会だより

広報常任委員会

委員長 佐藤 恵一
委員 阿部由紀子
田福 光規
原田 恵召
渡辺 久人
編集 森田 公明

■ 町政や議会、「議会だより」に関するご意見や感想をお寄せ下さい。

■ 長和町議会事務局 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1

電話：0268-75-2059 / FAX：0268-68-4139 / メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp